

—— 厳格審査には、厳格な試験を ——

合格しているのに日本語ができない 民間試験への調査開始

○ 主流は替え玉受験

「合格しているのに日本語が全くできない」「合格率が異常に高い」
民間試験への調査が行われ、当局の判断がいつ出されるのか、試験関係者の間で話題になっている。今の不正の主流は、カンニングではなく、「替え玉受験」。

○ 徹底した J.TEST vs 地元ブローカーが勧める不徹底な試験

替え玉受験は、これまでは「偽造 ID による替え玉受験」が多かったが、現在は「日本語ができるアルバイト」とペアになり「本物の ID」で 2 人とも試験会場に入場し、「試験開始前に席をかえる」方式や「答案用紙回収直前にお互いの名前を書き換える」方式（＝交換方式）が主流になっている。

カンニングに甘いある試験は、「偽造 ID」や「交換方式」に対しても取り締まりがゆるい模様。このため異常な合格率になっている。地元ブローカーは、「入管がビザを出しているのだからどんな試験でもかまわない。試験がダメになるまで今のうちに稼ぐだけ稼ぐ」と。

異常な合格率に対して、ついに民間試験への調査が行われ、当局の判断がいつ出されるのか、試験関係者の間で話題になっている。

J.TEST は、これまでも ID チェックや替え玉受験防止に力を入れ、年間 300 名以上を試験前に失格にしている。ますます「J.TEST を避けて他の試験を受けさせる」ブローカーが増えるだろう。

○ 外国人労働者と留学生の分離。2019年4月新たな資格基準創設。

労働力不足を、これまで留学生のアルバイトで補ってきたが、産業界の要望により、政府は、2019 年 4 月から外国人労働者を大幅に受け入れることを決定した。これにより、労働目的の人は、週 28 時間という労働時間の規制がある日本語学校に入る必要がなくなる。入管は、本来の「留学」という姿を日本語学校により求めてくるだろう。この 1 年以内に大きな変化がある。

○ 9月のJ.TESTの締め切りは、8月9日(海外) *地域により異なる。

○ 厳格審査が求められる今こそ、厳格な J.TEST をご利用ください。

<http://j-test.jp/> (＊ 一般情報)

<http://j-test.jp/office1> (＊ 海外事務所一覧)

(情報提供) J.TEST 事務局

〒160-0002 東京都新宿区四谷坂町 9-9 三廣ビル 9F TEL.03-6273-1814 FAX.03-6273-1815